

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H26新規)	—	H26	R1	12.0	1.16	【工事概要】 延長=1.1km 幅員=6.0(7.5)m
土木部内報告 (H30年度)	事業採択後 5年経過時の 土木部内報告	H26	R3	12.0	1.16	【当初評価からの変更概要】 字図混乱箇所があり用地境界確定に時間を要することによる工期延長
第1回審議 (R2年度)	事業採択後 6～9年経過 (工期)	H26	R8	12.0	1.15	【前回評価からの変更概要】 用地取得手続き難航による工期延長
第2回審議 (R7年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H26	R14	16.0	1.14	【前回評価からの変更概要】 用地取得手続き難航による工期延長 労務費・資材単価増による事業費増額

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的

飯香浦工区は、主要地方道野母崎宿線における延長1.1kmの区間において、通行車両の走行性の向上を図り、安心安全な生活道路の確保を目的としている。

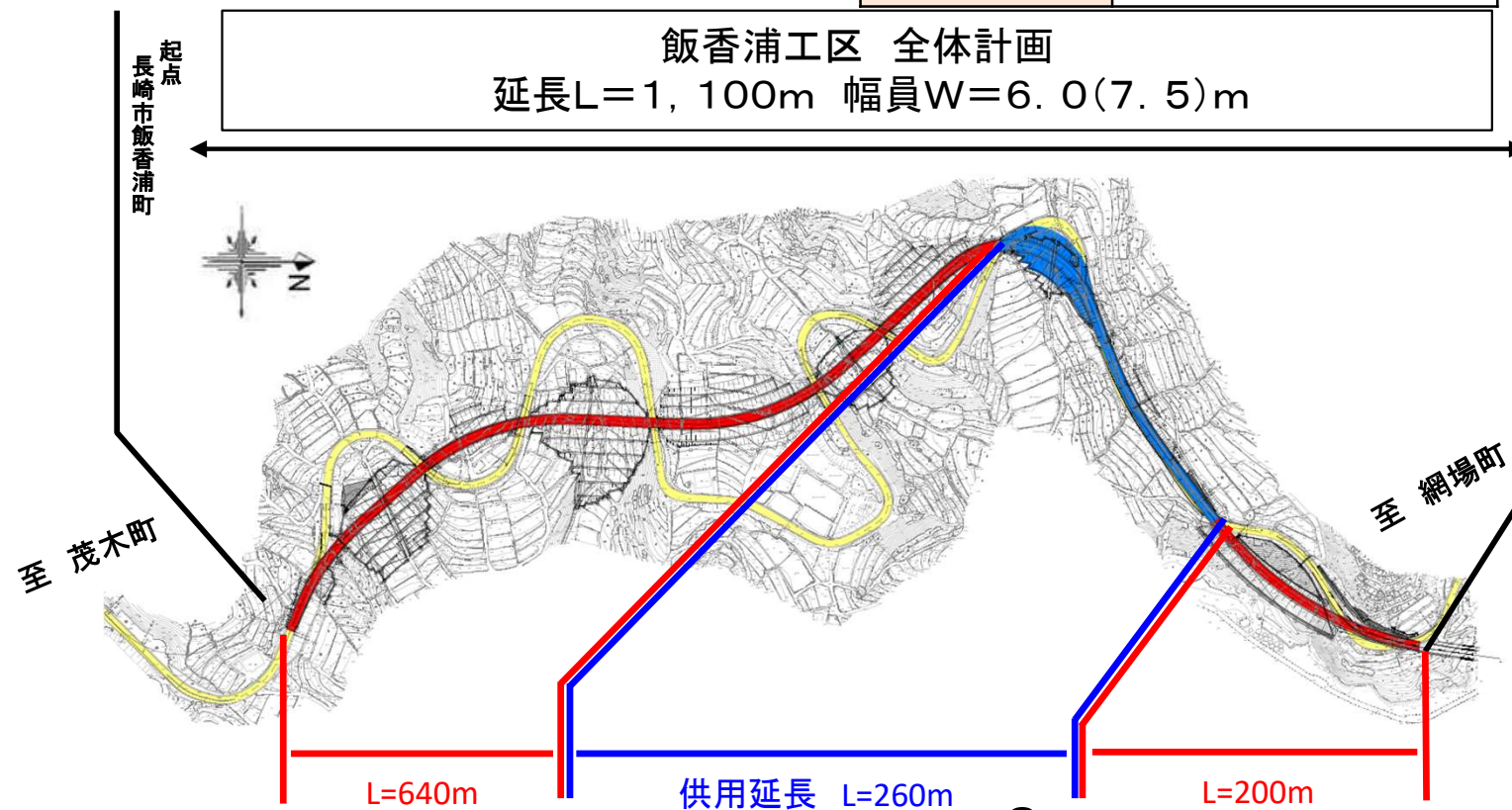
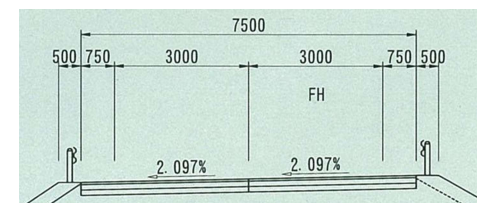
◆事業概要

計画延長	L=1.1km
幅員	W=6.0(7.5)m
計画交通量(R22)	1,494台/日

◆事業経過

平成26年度	事業化、工事着手、用地買収着手
令和元年度	約260m供用開始
令和元年度～令和3年度	地籍調査

◆標準断面



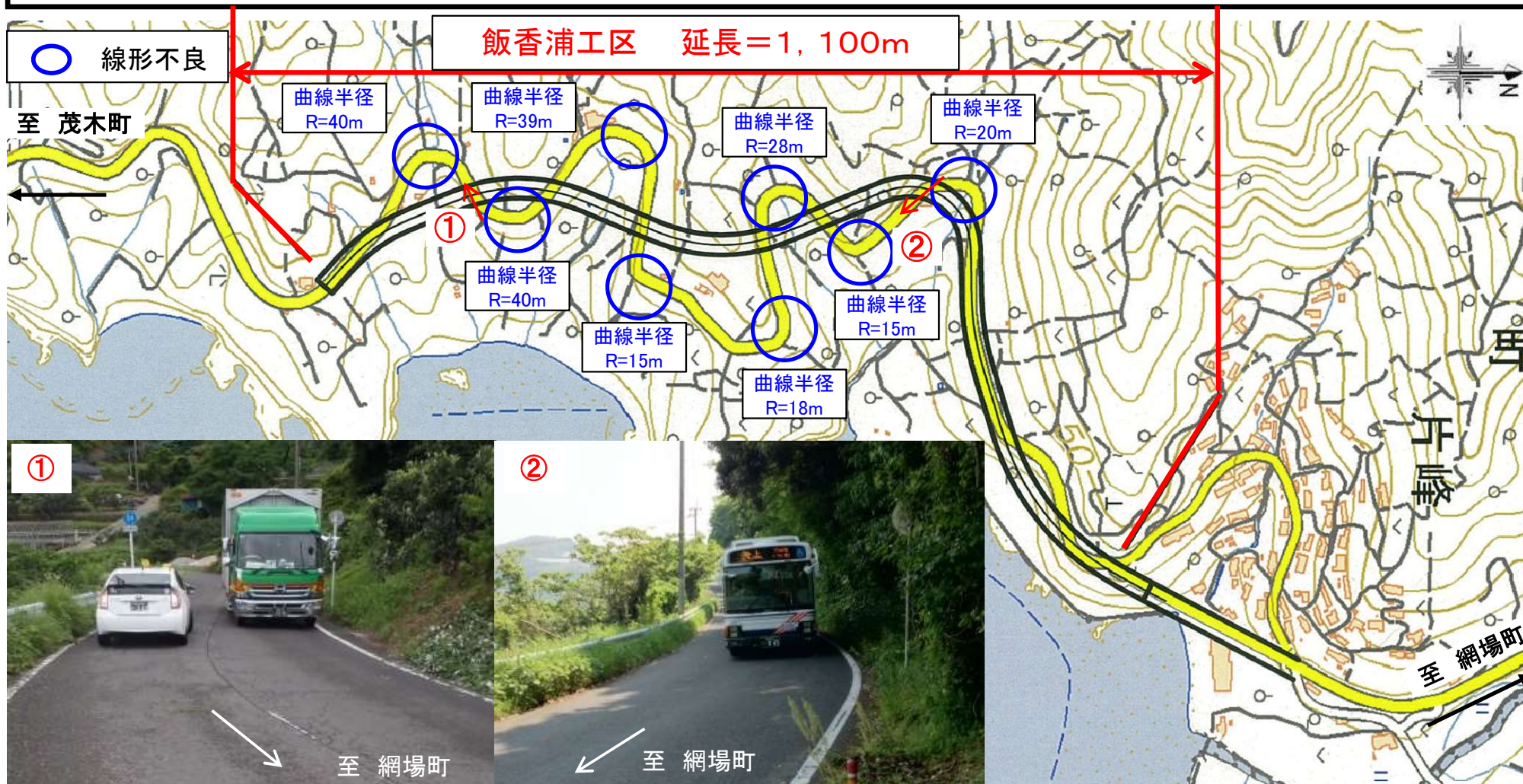
黄色	現道
赤色	整備中
青色	整備済

【令和7年3月末現在】
事業進捗率 26%(事業費ベース)
用地進捗率 18%(面積ベース)

3. 事業の効果・必要性

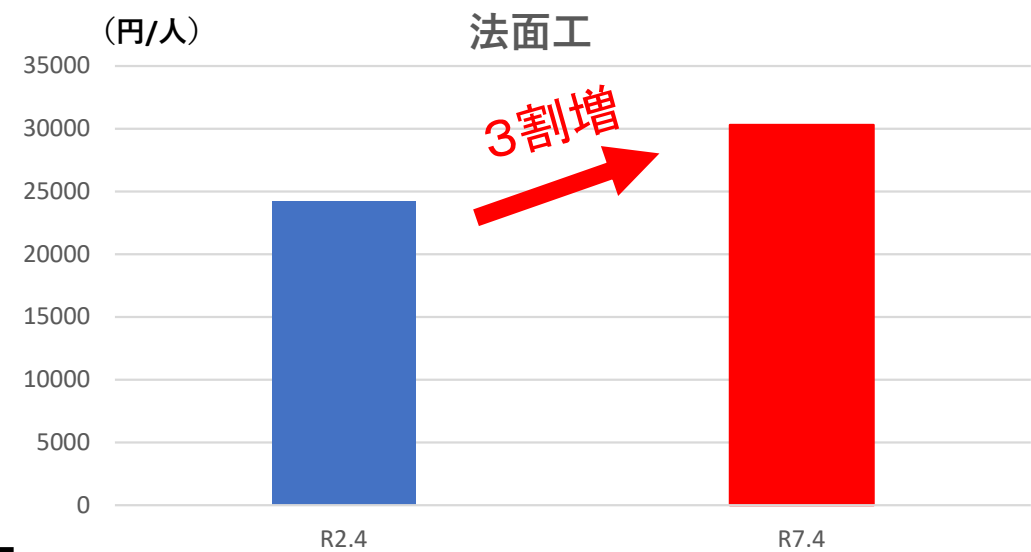
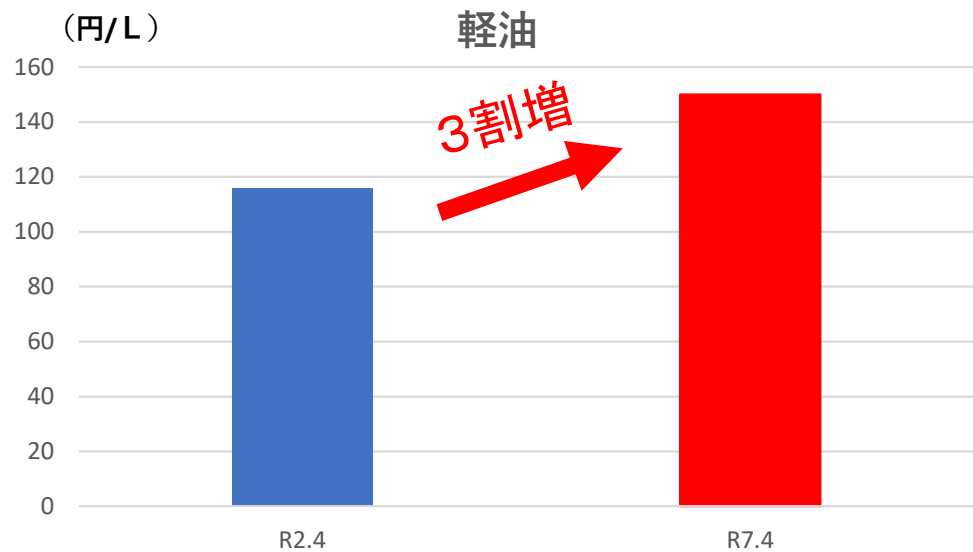
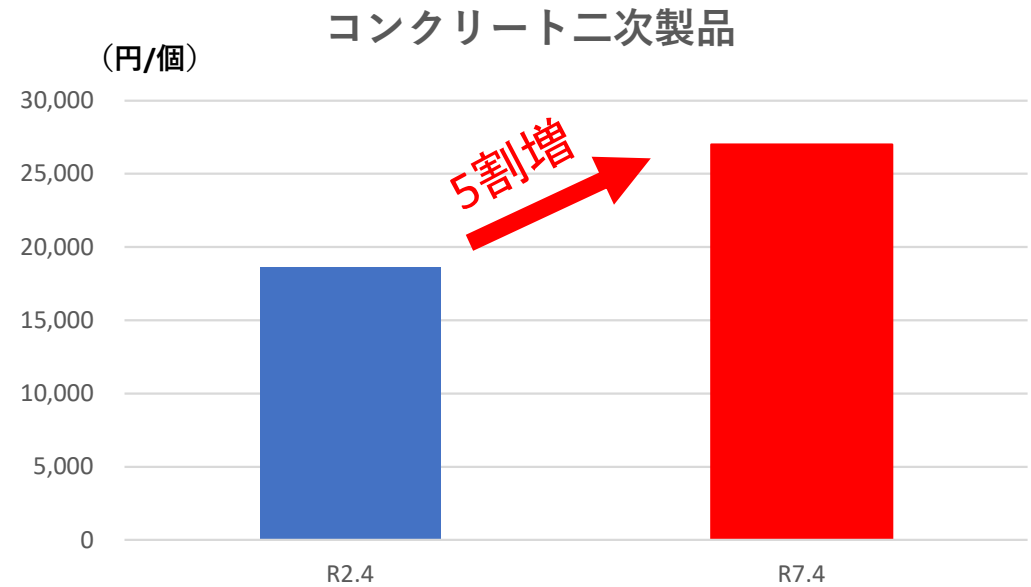
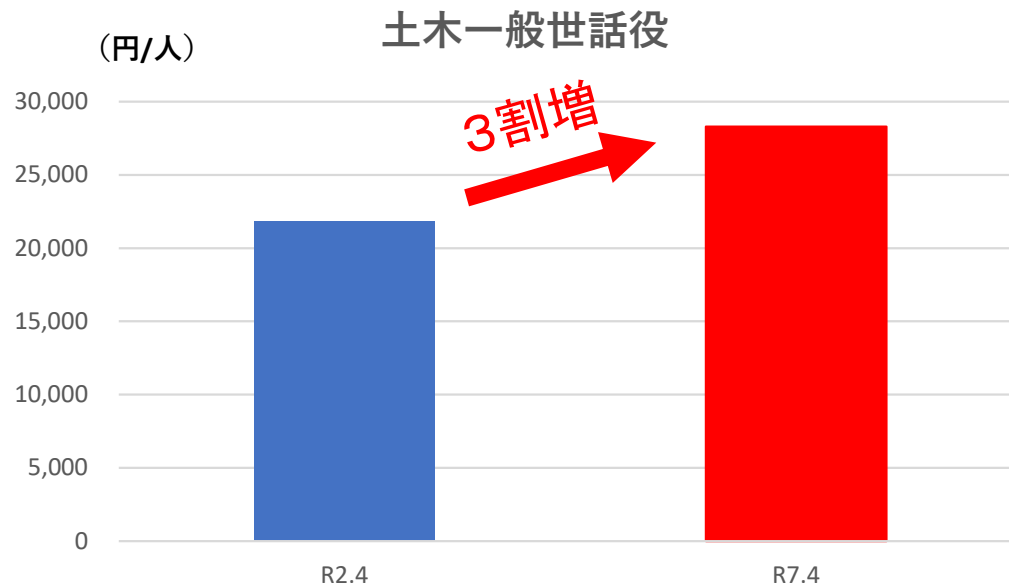
＜走行性向上による安全安心な生活道路の確保＞

当該事業区間は、長崎市東部を縦断する幹線道路の一部であり、全国一の生産量を誇るびわの生産地が位置している。しかしながら、幅員狭小で、かつ線形が屈曲しており見通しが悪いため、貨物車はもとより一般車両の安全な通行に支障をきたしている。そのため、道路改良により、車線の拡幅を行うことで、通行車両の安全安心な通行の確保が期待される。



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

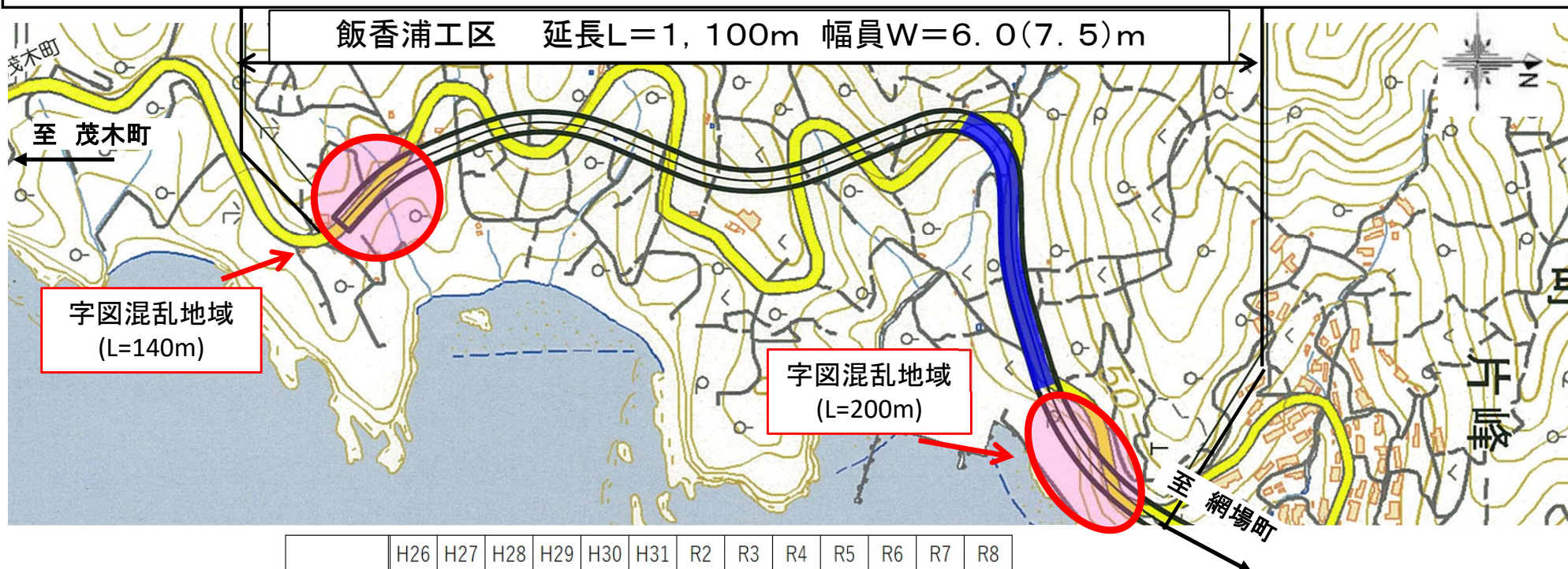
事業費増の内容	増額	主な増額理由
その他	約4億円	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など



4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R8(前回)→R14(今回)

・字図混乱地域があったため、長崎市の地籍調査を待ったものの、多くの筆界未定地が残ったことから、用地境界の確定に時間を要している。



前回

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量													
設計													
用地補償													
関係機関協議													
工事													

変更

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
測量																			
設計																			
用地補償																			
関係機関協議																			
工事																			

地籍調査期間

筆界未定地の解消

5. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和2年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	1.44 = 10.9億円／7.6億円	1.51 = 15.9億円／10.5億円
全事業	1.15 = 12.6億円／11.0億円	1.14 = 18.4億円／16.1億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改定
→原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・工期の延長

◆ B/Cでは計測できない効果

- ・緊急輸送道路の防災機能強化

6. 対応方針(原案)

- ◆ 飯香浦工区は、主要地方道野母崎宿線における延長1.1kmの区間において、通行車両の走行性の向上を図り、安心安全な生活道路の確保を目的としている。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで26% [4.2億円/16.0億円]であり、用地進捗率は18%となっている。(令和7年3月末現在)
- ◆ 「長崎市」から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

